学校番号	111

令和２年度　芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅱ「Tutti」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
■個性豊かな表現に必要なリコーダー、ギター、ピアノ等の奏法を身につけます。また、独奏・重奏・合奏、声や楽器を組み合わせた表現など様々な表現形態を学びます。
■音楽を形づくいる諸要素を知覚し､それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら創造的な表現、主体的な鑑賞を行います。
■音楽が生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

「音楽Ⅰ」の学習を基盤として、生涯にわたり音楽の愛好する心情を育てることを重視する。そのため音楽のよさや美しさを感じ取り､質的な価値を見出していくための感性を高めていくことを基礎としていく。生徒一人ひとりが創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、その上で生徒自らが感性を働かせて音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、その要素と働きを理解し、思考・判断して表現、鑑賞できるようにすることで音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち､歌唱､器楽､創作､鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し､それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌う。	【歌唱】 Tomorrow いつも何度でも	○	○	○		a: 曲想と歌詞の内容，楽曲の背景とのかかわりを理解し，効果的に歌うことを主体的に取り組もうとしている。 b: 速度，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し理解しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて，どのように歌うか表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせ，形式による違いを理解し，イメージをもって音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身につけ，個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	楽器の特徴を生かしたアンサンブルを楽しむ。	【器楽】 大きな古時計 アニメ･メドレー2 なごり雪 Juriter	○	○	○		a:リコーダー，ギター，ピアノの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し，それらを生かして演奏することに関心をもち，主体的に取り組もうとしている。 b: リコーダー，ギター，ピアノの音色やテクスチュア，形式，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら，様々な表現形態の特徴を生かした音楽を工夫し，どのように演奏するか表現意図をもっている。 c: リコーダー，ギター，ピアノの奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ，個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2学期	歌唱表現の工夫	【歌唱表現】 グループごとに曲を選択する。	○	○	○		a：様々な表現形態による歌唱活動に関心をもち，それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b リズム，旋律，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら，歌詞の内容をかかわらせて，様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽を工夫して，どのように歌うか表現意図をもっている。 c：曲想を歌詞の内容とかかわらせて，イメージをもって音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ，創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	舞台芸術の世界	【舞台芸術】 ◎オペラ『椿姫』 ◎ミュージカル『キャッツ』 ◆ミュージカルが生まれる	○	○	○	○	a：オペラやミュージカルの舞台芸術の特徴を理解し，それらの文化的・歴史的背景や作曲家に関心をもち，鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 曲想と歌詞の内容，舞台芸術の特徴の違いによる表現方法について理解し，それらを生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b：音色やリズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら理解して，曲想を歌詞の内容とかかわらせ，舞台芸術の特徴の違いによる表現方法の工夫をして，どのように歌うか表現意図をもっている。 c：舞台芸術の特徴の違いによる発声を生かした音楽表現をするために，必要な歌唱の技能を身につけ，個性豊かに表している。 d：音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，舞台芸術の特徴を理解し，それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め，よさや美しさを主体的に聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	音楽会を開こう	【音楽発表】 これまで取り扱った教材より選択	○	○	○		a: グループで選曲，または創作した楽曲の特徴や雰囲気，楽器の音色や奏法，演奏形態などを生かして，表現することに主体的に取り組もうとし，演奏発表会の企画・演出をすることに意欲的である。 b: グループで選曲，または創作した楽曲の特徴や雰囲気，楽器の音色や奏法，演奏形態などを生かして，音楽表現を工夫し，どのように歌うか，演奏するか，また創作するか表現意図をもっている。 c: 創意工夫をした音楽表現をするために，必要な歌唱や楽器，創作の技術を身につけ，個性豊かに表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	和楽器の響きと日本の音楽	【日本の音楽】 六段の調 人形浄瑠璃（文楽）『国性爺合戦』 日本の音楽	○			○	a: 日本の音楽や文化の特徴を理解し，それらの文化的・歴史的背景に関心をもって鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，日本の音楽の特徴を理解し，それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め，よさや美しさを主体的に聴いている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。